

◎2025年3月8日杉森中学校学校運営協議会議事録

3月8日(土) 午前10時45分～

杉森中学校図書室

出席(委員) 岡田会長、佐々木校長、村上会長職務代行、西野委員、狩野委員、朝枝委員、小川委員、福島委員

出席(学校) 濱田副校長、教務主任、キャリア教育担当教諭
傍聴 大西さん、伊藤さん(新年度からの委員就任予定者)

会議内容(次第順)

- ・会長あいさつ
- ・校長あいさつ
- ・議事録、配布資料確認
- ・審議事項 新年度の学校経営計画、教育課程の編成方針
- ・協議事項 1年生の「働くってどんなこと？」の授業の振り返り
職場体験の一部外部委託

*会議開催前の2時間目に1年生対象の「働くってどんなこと？」の授業に委員が参加

【来年度の学校経営計画(案)について】

「特色ある教育活動」の項で「自己肯定感を高める」と記すなどの修正が加わり、承認された。

【来年度の教育課程について教務主任から説明】

区教育委員会の指導・助言を踏まえ「指導の重点」の項目などで表現の修正や文言の追加をした。部活動が拠点校方式に変わり、夏に切り替わるので、どこかの段階で新しい部活動の在り方に関する生徒・保護者向けの説明を実施する必要があると話している。新1年生は当面、仮入部のような形になる。授業時数が他校よりもあまりにも多いことから、教育課程の届出相談日に区教委から指導があり、いろいろなやりくりをして授業を9コマほど削減した。

<委員の意見など>

・部活動について「こういう形でやることになった」との説明をあらためてこの場で一度してもらった方がいいのではないかと。

校長 区教委の学校支援課職員に説明してもらうことを検討する。

・部活動で何か事故があったときの管理監督責任は区になるのか。

校長 区で処理できるような事案は区で。事故の状況によっては学校と区が協力して対応する。部活動のための移動は学校の管理下で行う。

<来年度の学校経営計画・教育課程の編成方針について承認>

【コミ担授業「働くってどんなこと？」について】

・準備がきちんとされ、段取りよくできていた。自分がやりたいこと、好きなことを仕事にして人に喜んでもらえるようにするために、ゆっくり考えて行ってほしいと伝えた。人生百年時代で、50～60年働くようになっていく。10人近くから質問があった。中身のある内容になったかなと思っている。

・スムーズに進んだ。ある男子生徒は、野球を小さい頃からやっていてプロ野球選手になりたいと思っていたが、今は仕事を持って草野球でもいいから野球を続けていくと決めている、と話してくれた。よく考えていると感心した。

・面白い質問がいくつかあった。例えば「夢を持つ必要はあるか」「持たないといけないのか」と聞かれた。「成功の法則があれば教えて」との質問もあり、それぞれ答えた。先生が生徒を指名して質問を促す形だった。仕事と労働の違い、という話もした。社会の役に立つという面を含む仕事と、生活のための労働と。労働の側面がいま強くなっているという話をした。どれくらい理解されたかは分からないが。

・クラスを二つに分け、それぞれ車座をつくる形で話した。その方がフランクにやりとりできると考えた。去年に比べ、より活発に質問が出たと感じた。恐らく生徒は事前に質問を考えていたのだろう。担任の先生から働きかけがあって、準備がなされていたのだと思う。姿勢として前のめりだな、関心・意欲を持って取り組んでいるな、と感じた。

・事前に準備をしてくれていたようで、どんどん質問が出た。皆さんとても前向きで、熱心な生徒だと感じた。

・大きい一つの輪でやった。委員2人が互いに仕事内容について質問をし合ったりして、その中で聞きたいことがあれば自由に尋ねて、と呼びかけた。いろいろな質問が出て楽しかった。働きたくないという生徒が一人いた。働くのが嫌ということではなく、これからいろいろなことを勉強して見つけていきたい、という前向きな考え方だった。

・廊下に貼っていた父母の職業調べも良かった。

・CS委員から担任の先生に「なりたい仕事だったのか」と尋ね、先生が答える場面があった。生徒としては、これまで直接聞く機会がなかった話かもしれない。

・担当教諭 生徒たちはいい機会を与えてもらったと思っている。冬休みに、職業に関して親へのインタビューをして、その結果を廊下に貼ってある。CSの方々の話を聞いて、働くということがより身近になったかなと思う。これを2年生の職場体験につなげていきたい。職場体験に関して、来年度は仲介の会社を入れたいと思っている。地域で受け入れ先を探してくれる。新たな取り組みだ。生徒の名前は仲介の会社には一切伝えない。生徒の振り分けは教員が行う。今後、保護者会でも話したいと思っている。